球磨工業高校　教務だより　５月号

「自主性は、どこから湧き出るのか」

令和２年（２０２０年）５月２７日発行

人生100年時代の社会人基礎力

自主 自律
剛健 誠実
好学 自敬 愛

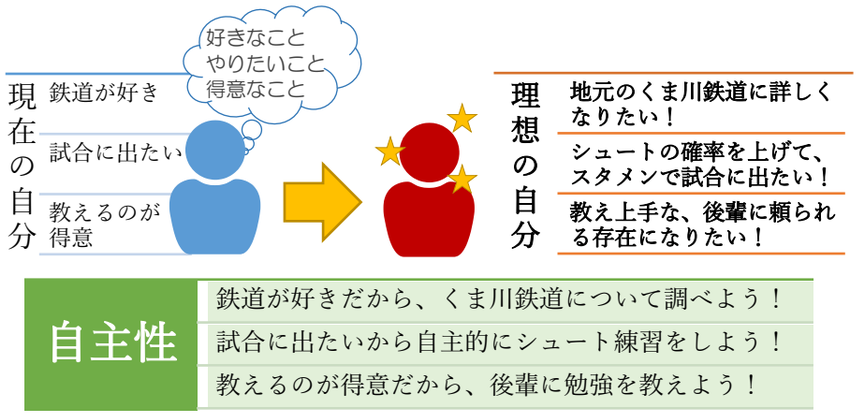
長かった休校期間を経て、やっと分散登校できる状態になりました。球磨工生全員が登校できるように、継続してコロナウイルス感染防止対策を万全にしましょう。 今回のテーマは「自主性は、どこから湧き出るのか」です。“自主性”とは、他のものの影響（家族や友達・先生からの働きかけ、時間に迫られて、やらざるを得ない環境）で動き出すのではなく、自分の想い（必要だ・楽しい・やりがいがある）で動き出すことです。

本校の校訓にも「自主」が入っており、球磨工生として身に付けたい力の１つです。

自主性は、どこから湧き出るのでしょうか。ある日突然、やる気が出てくるのでしょうか？自主性（自分の想い）は、待っていても湧き出てくるものではありません。勉強にしろ、資格取得にしろ、部活動にしろ「やらされ感」で、物事に取り組んでいる間は、自主性（自分の想い）が無いので成果が上がりにくいものです。では、どうすれば「やらされ感」から脱却し、何事も「自分ごと」として考えることができるのでしょうか。

まずは現在の自分を分析することが、自主性が湧き出る条件の１つです。自分の「好きなこと」、「やりたいこと」、「得意(苦手)なこと」を考えてみましょう。好きなこと・やりたいことは、自分を突き動かす原動力になります。やってて楽しい、この活動が好きだと思えることは、自主性が湧きやすいでしょう。

次に、現在の自分と理想の自分を比較してみましょう。得意なことは、自分の個性としてさらに伸ばせるでしょう。苦手なことは、できるだけ克服したいものです。また、自分に足りないことは、努力して身に付けることが必要でしょう。現在の自分と理想の自分を比較することで、自分がやるべきことが明らかになります。やるべきことがはっきりしていれば、あとはやるだけ！自主性が湧き出る条件が整うはずです。好きなこと、得意なことから始めましょう。



今後の予定

5 月 26 日(火)～29 日(金)は奇数番号・偶数番号で分散登校し、40 分×6 限授業。

6 月 5 日(金)6 限目にクラス役員集合・部活動編成、入部届の準備を。

1 学期の期末考査は **7 月 7 日(火)～10 日(金)**で実施します。

1 学期の成績は、**期末考査**、**休校中の課題**や**平常点**で算出します。

例年と異なる対応ですので、生徒の皆さんの不利にならないよう柔軟に対応します。

独学の連続

３年電気科担任　喜多　祐介

休校期間が長引き、計画通りに家庭学習を進めることも一苦労していると思います。その中で３年生から寄せられた教科の質問や感想を見ると、「教科書を使い、自分なりに解いていくのは苦手だけど頑張りたいです。」「１人での授業でしたがしっかり集中して勉強できたので良かったです。」などとこのコロナ状況にもめげずに、自主的に取り組もうとしている生徒も多く見受けられて頼もしい限りです。

高校時代を振り返ると、皆さんと同じように部活動や趣味などに時間を費やし、肝心の勉強は短時間で問題の解き方を覚えるような勉強をしていました。勉強は好きでしたが、楽しいと感じることは少なかったと思います。楽しさを感じることが多くなったのは、大学になってからでした。

大学の講義は問題を解くという内容ではなく、問題の本質を考える内容でした。初めて遭遇したε−Ｎ論法には何度も何度も教科書を読み解き、理解するために何時間も費やしました。このとき、勉強が楽しいと再認識した瞬間でした。なぜなら、ある教科の勉強を何時間もしたことはあっても、一つの問題に何時間も費やした経験がなかったからです。その後の大学生活も**多くの時間を費やしながら、物事の本質を考えたり、友人と議論しあったりと有意義な時間**を過ごすことができました。

さて、この休校期間、何でもいいですので、１つの事だけについて調べたり、考えたり、普段では費やすことができない時間を使って勉強してみたらどうでしょうか。もしかしたら新たな発見があり、楽しいかもしれません。楽しいことは自主的に取り組めます。社会に出れば、独学の連続です。いま、ひとりで勉強に向き合うことは、いずれ必ず役に立つと思います。

イプシロン エヌ ろんぽう
ε−Ｎ論法

微積分学の定理の内、特に関数の極限に関する定理の多くは、この論法によって証明される。

何度も何度も教科書を読み解き、理解するために何時間も費やしました。このとき、勉強が楽しいと再認識した瞬間でした。

これからの学校生活に向けて

３年機械科Ｂ組担任　原賀　裕章

質問です。

「休校期間中は何をしましたか？」

もし、これが就職試験だったら何と答えますか？

「学校から出された課題に取り組みました。」がほとんどだと思います。しかし、全国の高校生がしていることです。他にはと尋ねられればどのように答えますか？考えられるのは

・課題を理解できるまで復習
・部活ができない中でのトレーニング
・家の手伝い　　等

と様々なことがあります。普段できなかったことをする時間がありましたよね。２か月間を振り返ってみてください。

これからの学校生活、皆さんはどのように過ごしていきますか？各教科の先生から授業を受け、部活動も顧問の先生から指示を受けて取り組んでいくことになります。受け身の状態になるのはもったいないと思いませんか？休校期間中に身に付けた、自主的に取り組む力を発揮してください。

私が高校生のとき、苦手な教科を、どうにかできないかと思い、普段の授業でしっかりと話を聞き、メモを取るようにしました。家庭学習で同じ問題を何度も繰り返し解きなおしていくと、先生の言っていたことが理解できたと思った瞬間がありました。それをきっかけに考査の点数も良くなり、授業も好きになることができました。

皆さんがこの休校期間に身に付けたことは勉強や部活、家のことを自分で考え行動する力です。進路では、先生方の話を聞き目標とする進路先を調べたり、志望動機等を考えたりすることができます。勉強面では、理解できなかったところを復習することができます。部活動では、疲れた体を癒すためにストレッチをすることができます。それが**結果として付いてくれば自信となり**、学校生活が充実することに繋がっていきます。

これから新たな１学期が始まります。スタートダッシュが肝心です。それぞれの目標に向けて頑張っていきましょう。